



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュースレター

Today's News Flash

👉 スキー競技会 皇后杯第8位!

2月16日、第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」冬季大会スキー競技会において、成年男女と少年女子のジャイアントスラロームが行われた。県勢は成年男子Bで本田浩樹選手（サンミリオンエージェンシー）が第6位に入賞。次いで、成年女子Bの長谷川絵美選手（サンミリオン）が、前日に世界選手権から帰国した疲れも見せず第2位と健闘し、競技別皇后杯8位入賞という55年ぶりの快挙を果たした。

このスキー競技会で冬季大会が終了したが、現時点で男女総合成績第14位。9月から開始される本国体での「TEAM FUKUOKA」の活躍に期待がかかる。

【長谷川絵美選手のコメント】

悔しい！県勢みんなの分までと思って滑りましたが、優勝できなかった。2位という結果にホッとほしているが、これに満足することなく、これから全日本選手権に向けてトレーニングに励みたい。

【本田浩樹選手のコメント】

成年男子で入賞者がいなかったのがプレッシャーがあった。レースは、緩斜面はスピードが出なかったが、急斜面で挽回することができた。オリンピック選手2名が出場している中で、ほぼ予想通りの滑りだった。自己採点は60点。また来年に向けて、一から出直す。

【福岡県選手団 田口団長（福岡県体育協会副会長）の総評】

総得点は昨年より少なかったものの、選手の皆さんにはよく健闘して戴いたと思います。長谷川選手、本田選手が入賞し、貴重な得点を獲得したことは大きな成果でした。特に長谷川選手はヨーロッパ遠征から帰国した直後にもかかわらず、果敢な滑りで2位に入賞したことを高く評価したいと思います。今回、少年女子に2名の選手が出場し頑張りました。ジュニアの選手がさらに育ってくれることを期待します。



【長谷川選手と本県選手団】



【果敢な滑りで攻める長谷川選手】



【6位 本田浩樹選手】

Medical support

今回のメディカルスタッフは、安永ドクター（やすなが整形外科）と吉井の2人で選手のサポートを行いました。大会前日より選手宿舎にてコンディショニングを行ったり、大会会場においても診察や処置、テーピングを実施したりしました。今大会、特に印象に残っているのは、大会前に肉離れを起こし歩くのもやっとの状態の選手に対応した事でした。安永ドクターとの協力で大会出場まで可能となり、福岡県メディカルチームの役割を十分果たせたと思います。ドクター・トレーナーのタッグによるサポートでは、選手に迅速な対応をすることが可能となり、福岡県選手団のパフォーマンスアップに繋がったと思います。

【吉井トレーナー（鎌田病院）のコメント】

Result

2月16日（木）結果 【ジャイアントスラローム】

成年男子B

水尾 大輔（サンミリオン）	15位
本田 浩樹（サンミリオンエージェンシー）	6位
久家 和行（高治工務店）	83位



成年女子B

長谷川絵美（サンミリオン）	2位
渡邊 綾香（ワタナベ針灸院）	34位

少年女子

南波 陽菜（博多女子中学校）	97位
櫻井 花香（三池工業高校）	107位